

# ひょうたけいけ

桜台小 学校だより  
令和4年5月9日  
第7号



4月28日(金)、園芸ボランティアの皆さんに学級園の環境整備をしていただきました。草を抜いて耕運機で耕し、土をふかふかにしていただきました。20分休みには子どもたちが近づいて「何をしているの?」と、声をかけている場面がありました。何気ない地域の方と子どもたちとのふれあいが、子どもたちの豊かな心を育みます。学級園には、これからサツマイモの苗などを植えていきます。秋には豊作になるといいですね。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



## 5・6年生で一部教科担任制を行っています。

令和元年12月、中央教育審議会初等中等教育分科会において、義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方が論点となりました。その分科会では「義務教育9年間を見通した指導体制の整備に向けて、小学校高学年の発達の段階、外国語教育をはじめとした教育内容の専門性の向上などを踏まえ、令和4年度を目途に小学校からの教科担任制を本格的に導入すべきである」という方向性が出されました。四日市市においても、国の動向や四日市市実践推進モデル校の取組等を踏まえ、今年度よりすべての学校の5・6年生で、「交換授業」あるいは、専科教員による「一部教科担任制」に取り組むこととなりました。具体的な効果としては、①学習指導の充実(質の高い授業改善、学習評価の妥当性)、②生徒指導の充実(学年・学校経営への教員の意識改革による指導体制の一体化、複数教員による多面的な児童理解)、③中学校への円滑な接続(中学校の教科担任制に対する抵抗感の減少、小中学校間における学習面の円滑な接続)、などが期待されています。

本校は、5・6年生において、体育、外国語、図工、書写を担任の「交換授業」、理科、音楽、家庭を専科教員による「一部教科担任制」で授業を行っています。また、3・4年生においては、音楽、図工、書写において専科教員による「一部教科担任制」、1・2年生においても一部の教科で専科教員が授業を行っています。



次世代の学校・教育現場には、変化の激しい時代を生きる子どもたちを育成することが期待されています。そのためには、「学校現場こそが変化することを恐れずに柔軟に対応していくこと」「学校が子どもたちや教職員にとって居心地の良い場所となるように変わっていくこと」が大切であるといわれています。子どもたち一人ひとりが、心豊かに創造性を育むことができる教育環境を提供できるように、教職員一同頑張っていきたいと思っております。

## 「春のふれあいウォーク」に出かけました。

本校は、【ひと(相手)を大切にする】という学校づくりビジョンの重点目標から、『きょうだい学年(①1,6年②2,5年③3,4年)』というくくりを大切にさまざまな活動を行っています。5月2日(月)の「春のふれあいウォーク(ミニ遠足)」では、1,6年が桜台小学校の運動場周辺、2,5年が桜台中央公園、3,4年が桜花台中央公園へと出かけました。上級生が下級生にしっかりと関わり、面倒を見ている場面が見られました。



以前『人は人との関わりの中でこそ成長する』とある講演者が話していましたが、異年齢の子どもたちが関わり合うことはとても貴重な体験であり、今後も本校の大切な柱として見守っていきたいと考えています。

## 児童用学習アプリについて

今年度、四日市市教育委員会は、すべての学校にタブレット端末で利用できる学習ドリル「ミライシード(ドリルパーク)」を導入しました。本校では今後、子どもたちが授業や家庭学習で利用できるように、タブレット端末での使用方法などを伝え、タブレットを家庭に持ち帰った際、学習ドリルを使って自由に学習に取り組めるようにしていきたいと考えています。準備や調整にしばらく時間が必要となりますので、ご了承ください。

なお、それに伴い、昨年度まで利用していた「学んでE-net(iプリ)」と「タブレットドリル」については、現在利用できなくなっていますので、ご了承ください。

(文責 北住 昌文)